

財団シンポジウム開催のお知らせ

「高齢化先進国の日本!みんなが主役となって創る地域社会とはー海外と日本の最新トレンドから高齢者の活躍を考えるー」

共催：一般財団法人長寿社会開発センター国際長寿センター
開催日時：2018年11月16日（金）13:30～16:00
開催場所：MY PLAZA ホール(明治安田生命ビル、東京都千代田区丸の内2-1-1)

内容：

第1部 海外の最新トレンド

- 講演1 地域ケアと高齢者の地域貢献に関する海外のトレンド
松岡 洋子氏（東京家政大学人文学部 准教授）
- 講演2 [海外事例報告] 高齢者はどのように地域を創っているか
マリエック・ヴァン・デル・ワール氏（オランダ国際長寿センター 事務局長）

第2部 日本の最新トレンド

- 講演3 日本における高齢者の地域参加、社会貢献
服部 真治氏（医療経済研究機構 主任研究員）
- 講演4 国内事例報告

- ① 住民自らが創り出すつながりあう場づくり
杉並区荻窪「荻窪家族 百人力サロン」
荻窪家族プロジェクト代表 瑠璃川正子氏
- ② 高齢者の主体性を引き出す通いの場づくり
横浜市磯子区元気づくりステーション
「ふくろう会」担当保健師

第3部 パネルディスカッション

「みんなが主役となって創る地域社会とは」
コーディネーター：澤岡 詩野(ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員)

お申込み方法については、財団ホームページをご覧ください。(http://dia.or.jp/disperse/event/)

研究発表

(*は財団研究員)

第13回日本応用老年学会大会(2018/10/20-21, 東京都)

- ①石橋智昭*・中村桃美*・森下久美*：「シルバー人材センターの75歳以上会員の健康度と働き方」
- ②森下久美*・矢吹知之*・長田久雄*・関野明子：「老老介護における空白の期間の実態、認知症家族介護における検討」
- ③澤岡詩野*：「異性の友人がいる高齢者の特性」

第77回日本公衆衛生学会総会(2018/10/24-26, 福島県)

- ①石橋智昭*・土屋瑠見子*・小野恵子*・池上直己：「『参加』を定量的に評価するためのアウトカム指標の検討：介護保険施設での試行」

- ②土屋瑠見子*・石橋智昭*・小野恵子*・池上直己：「介護保険施設入所者の活動・参加と生活満足度との関連ー国際生活機能分類による検討ー」
- ③中村桃美*・森下久美*・石橋智昭*：「シルバー人材センター会員の年齢段階別の退会理由；全国6万人調査の結果から」
- ④森下久美*・中村桃美*・石橋智昭*：「高齢者に対する認知症サポーター養成講座の有用性の検討」
- ⑤安順姫*・兪今*：「うつ予防教室終了後の自主活動がその後のメンタルヘルスに与える効果」

論文発表

(*は財団研究員)

中村桃美*・石橋智昭*：「シルバー人材センターに対する会員の領域別満足度と関連要因の検討」『応用老年学 Vol.12』(日本応用老年学会, 2018年8月刊行)

講演など

2018年7月9日（月）公益財団法人東京しごと財団主催平成30年度第1回シルバー人材センター会長会議で石橋智昭が「生きがい就業と介護予防」を講演。

2018年7月13日（金）豊田市シルバー人材センター主催 地区正副代表及び地域班長合同会議で森下久美が「生きがい就業による介護予防効果の見える化について」を講演。

2018年9月8日（土）小平市みこしプロジェクトで澤岡詩野が「人生100年時代を豊かに生きる為の3つのヒント」を講演。

2018年9月9日（日）鶴ヶ島市地域デビューきっかけ広場で澤岡詩野が「人生100年を幸せに過ごす為の居場所創りとは？」を基調講演。

2018年10月18日（木）新座市シルバー人材センターが主催する平成30年度リーダー研修会・交流会で中村桃美が「80歳代になっても元気で働けるシルバー人材センターのあり方」を講演。

取材記事

三菱グループ誌『マンスリーみつびし』2018年10月号の特集「STOP! 介護離職」に森義博のインタビュー記事が掲載されました。

発行者 公益財団法人 **ダイヤ高齢社会研究財団**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑
TEL:03-5919-1631 FAX:03-5919-1641
E-mail:info@dia.or.jp http://www.dia.or.jp

編集人：鈴木章一 デザイン・印刷：橋本確文堂（三菱製紙ホワイトニューVマット） 発行：2018.10.25 No.95